



# 筑波大学人間総合科学学術院

## 「教育実践研究プログラム」

筑波大学が提供する履修証明プログラム「教育実践研究プログラム」へようこそ。教育の実務経験者を対象として、今日的な教育課題への見識を深め、実践研究能力の向上を図ることを目的としています。



# プログラムの目的と特徴



## 理論

教育課題に関する専門的な知識について学びます。



## 方法

教育実践研究を進めるための手法を修得します。



## 探究

自身の関心ある教育課題を解決する力を養います。

# 受講資格と申請方法

1

## 受講資格

大学院入学資格を有し、教育実務経験があること

2

## 申請書類の準備

募集要項と受講要項を確認して、申請書類を作成します

3

## 申請書の提出

2026年5月7日までに、郵送で申請書類を提出します

# カリキュラム構成

## 教育実践研究の課題 I

教育の基本原理や学校運営に関する  
今日的課題を学びます

## 教育実践研究の探究

自身の教育実践を研究対象として、  
具体的な研究を進めます



## 教育実践研究の課題 II

発達障害や多文化教育など、  
ダイバーシティやインクルージョン  
に関する課題を学びます

## 教育実践研究の方法

質的・量的研究法を体系的に理解し、  
修得します

# 開講スケジュール

1

## 教育実践研究の課題Ⅰ

2026年6月～8月の土曜日、13:45～17:00、オンライン開講  
(開講日・講義内容・担当教員等詳細はWEBページ参照)

⇒8つの講義から5つの講義を選択して受講(単年度内に)

2

## 教育実践研究の方法

2026年8月8日・9日、9:00～17:00、筑波大学で対面開講

3

## 教育実践研究の探究

2026年8月22日・23日、9:00～17:00、筑波大学で対面開講

4

## 教育実践研究の課題Ⅱ

2026年9月～11月の土曜日、13:45～17:00、オンライン開講  
(開講日・講義内容・担当教員等詳細はWEBページ参照)

⇒8つの講義から5つの講義を選択して受講(単年度内に)



2026 Caender

Mon	Tu	We	Thu	Fri	Sat	Sun
					2	1
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

Wed All Rights Reserved 2026

# 教育実践研究の課題Ⅰ・Ⅱのテーマ

## 課題Ⅰのテーマ（例）

- 教育における自由・平等・社会的公正
- 学校統廃合と地域の再編
- 主権者を育てる教育と学校
- 学校の自律性とリーダーシップ

など

## 課題Ⅱのテーマ（例）

- 発達障害に対する理解と支援
- いじめ問題の深層と子どもの支援
- 不登校児童生徒の実態と必要な支援
- 異文化のはざまを生きる子どもたち

など



# 充実した教員陣



## 教育学の専門家

藤井穂高教授、唐木清志教授、浜田博文教授など教育学の第一線で活躍する研究者が指導します。

## 心理・障害科学の専門家

飯田順子教授、丹治敬之准教授、千島雄太准教授など多様な専門分野の教員が参画しています。

## 実践と理論の架け橋

実務家教員も参画し、理論と実践を結びつける学びを提供します。



# 修了要件と問い合わせ先



## 全科目の履修

開講するすべての科目に出席します



## 成績評価

科目担当者会議で評価されます



## 修了認定

合格と判定されれば修了となります

問い合わせ先：筑波大学人間エリア支援室大学院教務：ningen-eprp@un.tsukuba.ac.jp